

ハザードマップ作成の第三回 ワークショップ開催

防災部会長 山口 隆之

11月28日（土）に、一区ハザードマップ作成のワークショップ第3回目を実施しました。今回は、前回の「まちあるき」で検証した地図情報や、過去に実際に起った災害の履歴の有無など、掲載内容の確認を行う、まとめの作業です。

一区の防災部会は、宮島口地域防災会、宮島口上地域防災会、宮島口東地域防災会、福面地域防災会の4地域防災会で構成され、今回は、19名の参加をいただきました。

ハザードマップの活用方法には、家族で避難経路を確認して防災意識を高める、地域防災の話し合いで使用する、地域学習、防災訓練で使用など、いろいろありますが、災害が起こった時に広げて見るものではありません。日頃の準備で、情報の浸透を図っておくことが大切です。

今回で完成する一区専用ハザードマップは、令和3年3月に両面A2サイズで、各世帯配布の予定です。届いたら、是非家族で話し合いをしてくださいね。